

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

保存期慢性腎臓病患者の低身体機能に関連する因子の調査-後ろ向き研究-

2. 研究責任者(当院)

所属： リハビリテーション室

氏名：田畑吾樹

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

3. 分担研究者

所属：腎臓内科

氏名：藤井隆之

所属：リハビリテーション室

氏名：加藤木丈英、三嶽侑哉、大野隼汰

4. 研究対象者

2020 年 07 月 01 日～2026 年 06 月 30 日の間に、聖隷佐倉市民病院において、慢性腎臓病の教育
目的で入院した患者

5. 研究の必要性

近年の本邦における高齢の慢性腎臓病（chronic kidney disease：以下, CKD）患者数が増加¹⁾している。高齢保存期 CKD 患者は、糖尿病や高血圧、心血管疾患、整形外科疾患など多くの併存疾患を有しており、健常者と比較し身体機能が低下していることが明らかとなっている。また、高齢保存期 CKD 患者における身体機能の低下は、生命予後や心血管疾患の発症、透析導入と関連することから、身体機能を維持・向上することは、生命予後の改善や重症化予防のために重要である。しかしながら、保存期 CKD 患者の身体機能を調査した先行研究は、主に成人や中年を対象としており、高齢保存期 CKD 患者の低身体機能に影響する要因は十分に検討されていない。高齢保存期 CKD 患者における、低身体機能に関連する因子を明らかにすることで、高齢保存期 CKD 患者の身体機能の改善のため介入方法の一助となるデータを提供できると考えられる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

後ろ向きコホート研究であり、日常診療にて収集した情報のみを使用するため、本研究によって生じる個人への影響はないと考えられます。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、身体機能の評価を行うことで、転倒や入院等の予後予測につながることで、早期にリスクが高い患者を抽出でき他職種で予防に取り組むことが可能となると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151（代表）

担当者氏名：田畑吾樹

対応時間：8:30－17:00